

THE WEINSTEIN COMPANY AND FILMFOUR
PRESENT
A CUBA PICTURES PRODUCTION

PETER MULLAN ANDREW GARFIELD

BOY A

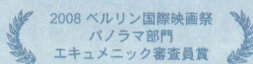
SHAUN EVANS SIOBHAN FINNERAN KATIE LYONS JEREMY SWIFT JAMES YOUNG

Casting Director FIONA WEIR Line Producer SUE CALVERLEY Make Up & Hair Designer JESSICA TAYLOR Costume Designer JULIAN DAY Sound Mixer JIM GREENHORN Music Supervisor LIZ GALLACHER Music By PADDY CUNNEEN
Editor LUCIA ZUCCHETTI Production Designer JON HENSON Director Of Photography ROB HARDY Executive Producer LIZA MARSHALL Based On The Novel By JONATHAN TRIGELL Screenplay By MARK O'ROWE
Produced By NICK MARSTON TALLY GARNER LYNN HORSFORD Directed By JOHN CROWLEY

アンドリュー・ガーフィールド (『大いなる陰謀』) ピーター・ミュラン (『マイ・ネーム・イズ・ジョー』) 主演 ジョン・クローリー監督作品

脚本: マーク・オロウ / 原作: ジョナサン・トリゲル / 編集: ルシア・ズケッティ / 撮影: ロブ・ハーディ / 出演: アンドリュー・ガーフィールド、ピーター・ミュラン、ケイティ・リオンズ、ショーン・エヴァンス
原題: BOY A 2007年 / イギリス / 107分 / カラー / 1:1.85 / ドルビー-SRD 宣伝: ムヴィエラ 配給: シネカノン cine@uanon

www.boy-a.jp



僕はいつだって、
このように。

ケン・ローチのリアリズムと
若者映画のきらめきを、
この作品は兼ね備えている。

★★★★★

タイム・アウト・ニューヨーク

胸が痛いほどにエモーショナル。瑞々しく衝撃的なブリティッシュ・インディーズの感動作。



浅井健一 (ミュージシャン)

やさしい子がちょっとした偶然のかさなりで不幸な人生を歩んでしまう。
 僕たちが生きるこの社会、どこからやってきて、どこへゆくのかさえ知らない人たちが大騒ぎしている。
 この映画を見て思うこと。
 本当の「悪」が存在している場所、それを僕たちはちゃんと知らなくてはだめだということ
 本物の悪意がどこからやってくるのか。
 簡単なことではないと思うけど、その場所を見つけること。
 1人でも多くの人がそれを知ることによってこの世界は今よりも少しは、笑顔がふえてくると思います。

少しずつ彼を知り始めた時、訪れる衝撃の結末。



彼は未来のために名前を失った……。

まるで幼い少年のようににはにかんだ笑顔を見せる青年。彼は、「新しい名前」を選ぶ。「ジャック」だ。青年の心には大きな傷あとがある。けっして消せない罪を背負っている。今、愛する人ができた。仲間ができた。それでも彼は問いかける。「僕はここにいる、いいの?」。物語がすすみ、少しずつジャックを知り始めた時に訪れる衝撃の結末。その時あなたは彼の問いに何と答えますか?

人はもう一度、生き直せますか

もう一度生き直すために本当の名前を失った青年の心の傷、希望、孤独を、胸が痛くなるほどエモーショナルに描いたブリティッシュ・インディーズの新たな感動作です。親に愛されず、学校でいじめられ、「BOY A」となった主人公ジャックを演じるのは、英国の新星アンドリュー・ガーフィールド。誰もが認める繊細で力強い演技とともに、無垢な瞳から溢れるナイーヴな少年らしさが心に残ります。主人公を世話するソーシャルワーカーを演じるのは、ケン・ローチ監督作『マイ・ネーム・イズ・ジョー』の名優ピーター・ミュラン。ジャックと父子のような関係を築きながら、実の息子とは心をつかちあえない難しい役柄を、さすがの名演で見せています。監督、脚本は、コリン・ファレル、キリアン・マーフィー主演でアイルランドの若者の青春群像劇『ダブリン上等!』をヒットさせたジョン・クローリーとマーク・オロウのコンビ。瑞々しく衝撃的な傑作が、ここに生まれました。



痛ましい現実と、贖罪についての、
 小さな、しかし偉大な映画。

★★★★★
 ウォール・ストリート・ジャーナル

心を奪う物語。キャストはみな見事だが、
 とりわけガーフィールドは称賛に値する。

★★★★★
 ロサンゼルス・タイムズ

次代のスター、アンドリュー・ガーフィールド。

主人公を演じるアンドリュー・ガーフィールドは舞台出身で、数々の新人賞に輝いた後、トム・クルーズ、メリル・ストリープ共演の『大いなる陰謀』で映画デビュー。ロバート・レッドフォード監督に「たいへんな掘り出し物!」と言わせたことで、一気に世界中が注目。『BOY A』の後にはテリー・ギリアム監督の新作でジョニー・デップらと共演している将来のスター候補。これまでリバー・フェニックス、ブラッド・レンフロ、レオナルド・ディカプリオといったナイーヴな若手俳優が好きだった人は、ぜひチェックして欲しい。

脚本家からのメッセージ。

「主人公の過去はこれから見る人には話さないで。」

監督、脚本、俳優たちが口を揃えるのが「先入観なしで、主人公と出会って欲しい」ということ。脚本家のマーク・オロウは、こう言う。「映画のタイトルから想像できるが、主人公は過去に何かをした。しかしはっきりとはわからない。私は観客に彼の過去を知る前に、彼という人間に出会って欲しい。それがこの映画の一番大切な点。だから、映画を見た人はまだ見ていない人には彼の過去を話さないでください。」

BOY A



監督:ジョン・クローリー/脚本:マーク・オロウ/原作:ジョナサン・トリゲル
 編集:ルチア・ズケッティ/撮影:ロブ・ハーディ
 出演:アンドリュー・ガーフィールド、ピーター・ミュラン、ケイティ・リオンズ、ショーン・エヴァンス
 原題:BOY A 2007年/イギリス/107分/カラー/1.85/ドルビー-SRD
 宣伝:ムヴィオラ 配給:シネカノン/cine@uanon

www.boy-a.jp

© 映画『BOY A』オフィシャルコミュニティ(SNS)サイト
 みんなの映画コミュニティ「シネトレ」 <http://www.cine-tre.com/>



8/8(土) ~ 8/14(金) 2本立て上映

BOY A

10:30/14:15/18:00

ダイアナの選択

学校紛争事件から生まれた聖劇…
 聖書と自分、どちらかが赦される“選択”の瞬間。
 原簿:ヴァレリム・バルビエン
 脚案:ユマ・サン・サマン/エウアン・レイチエル・ウツ

12:30/16:15/20:00

早稲田松竹
 03(3200)8968